

Topics

伊東市でリノベーションスクール開講 参加者が空き店舗を活用した事業でまちの未来描く

先月13日から15日までの3日間、伊東市でリノベーションスクールが開講されました。参加者は、実際の空き店舗を題材に、エリアへの波及効果を狙える事業の構築に挑みました。



実際に使われていない不動産を活用した新たな事業計画の作成に、3日間の日程で取り組むリノベーションスクール。伊東市では初開催となり、市内在住の若手経営者や移住者、伊東市出身の大学生など16人が参加しました。(平均年齢36歳)

今回は市中心部のキネマ通り商店街の2つの空き店舗が対象となり、参加者らは2ユニットに分かれて、ユニットごと、それぞれの物件での事業案を検討。スクールマスターのリノベリング・水上幸子氏、ユニットマスターの南康生家守舎・畑克敏氏(愛知県岡崎市)、ハートビートプラン・有賀敬直氏(山口県長門市)らのサポートを受けながら、3日間で事業案を組み立てました。

日程	内容
Day1	オープニングレクチャー 対象物件見学、オーナー・まち取材 ユニットワーク(事業の方向性を決定)
Day2	ショートプレゼン、ブラッシュアップ 先進事例レクチャー 対象物件見学、まち取材 ユニットワーク(事業計画の組立て、検討)
Day3	ユニットワーク(プレゼンテーション内容を検討) 公開プレゼンテーション 総評

最終日には、およそ120人の市民らの前で公開プレゼンが行われ、参加者らは対象物件を活用した、エリアへの波及効果を狙える事業案を発表しました。

※来月のフォーラム通信第4号に、伊東市でのリノベーションスクールの特集記事を掲載します。詳細はこちらの記事をお待ちください。